平成26年度 事務事業評価表【評価版】

事業名: 友好都市提携35周年記念事業

秘書課 秘書係

538 **]**

政策	06 市民協働によるまちづくり								
施策	03 国内・国際交流の推進								
基本事業	03 異文化交流の推進								
開始年度	平成25年度	終了年度	平成25年度	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市民、土佐市民

手段(事務事業の内容、やり方)

友好都市提携35周年を記念した関係者の相互訪問及び記念式典等の実施

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市民の友好都市に対する理解を深め、今後の都市間交流の充実と円滑化を図る

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標 1	江別市民、土佐市民の人数	人	0	0	149, 456	0
対象指標2						
活動指標 1	事業費	千円	0	0	1, 215	0
活動指標 2						
成果指標 1	式典等の両市参加者数	人	0	0	103	0
成果指標 2						
事業費(A)		千円	0	0	1, 215	0
正職員人件費(B)		千円	0	0	1, 172	0
総事業費 (A + B)		千円	0	0	2, 387	0

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
25年度	友好都市提携35周年記念式典の開催 土佐市で開催される記念式典に市長、議長ほか訪問	旅費:297千円(市長、議長) 式典開催等経費:918千円

事業を取り巻く環境変化	(E
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
	- 5民が南国土佐市の異文化に触れる貴重な機会となっており、両市の地場産業ならびに地
域の活性化に繋げることが	できている。
立は25年中の中様にし	7 担坐舗の証法(立成26年度2 日時上)
7 7 7	る担当課の評価(平成26年度7月時点)
(1) 祝金を使って達成する	る目的(対象と意図)ですか?市の役割や守備範囲にあった目的ですか?
妥当である	3 5 周年という記念すべき節目に、これまでの交流を振り返り、今後の交流の 在り方を考えるとともに、両市の絆を強める上で妥当と考える。
	エッカでもんることでは、岡中の神を思める上で女当とちんる。
妥当性が低い	理由
	根拠
(の) トルのサナ市要。の言	
(2) 上位の基本事業への責	
貢献度大きい	異文化交流を推進する上で効果がある。
去	
貢献度ふつう	理由
貢献度小さい	根拠
只⊪/文小で ♥ '	
基礎的事務事業	
(3) 計画どおりに成里は	
上がっている	市民レベルの交流により、地場産業、地域の活性化に繋げることができている 。
じたこかレハラげレボニナハフ	
どちらかといえば上がっている	["] 理由 一
上がらない	根拠
(4) 成果が向上する金地	 (可能性) がありますか?その理由は何ですか?
	周年事業により平成25年度のみの事業
成果向上余地 大	川十世末により十成以のの伊末
 成果向上余地 中	
以太阳上水地 中	理由
成果向上余地 小・なし	根拠
(5) 現状の成果を落とさる	 ボースト(予算+所要時間)を削減する方法はありませんか?
	周年事業により平成25年度のみの事業
ある	周十尹末にあり丁以とり牛及の07の尹末
<i>t</i> :1	
なし	理由
	根拠